

市内各地区の自慢や話題を紹介していただきます。

四日市の
地区自慢

内部

歴史深いまち 内部



～四日市市に合併して70年

人と人との絆を大切に歩んできたまち～

うつべ町かど博物館

旧東海道を日永の追分から小古曾、内部川・采女町と南下すると、杖衝坂に差し掛かります。その杖衝坂の中腹に歴史と文化を発信するうつべ町かど博物館があります。

内部地区の古墳時代の埋蔵品、中世時代の采女城跡の遺構や昭和30年代までの生活道具、農機具が常設展示されています。

平成26年度特別企画展として、三重県内東海道七宿の写真展、温故知震展などを予定しています。館員一同、おもてなしの心でお迎えますので、ぜひご来館ください。

開館日時：毎週水・土・日・祝祭日の9:00～12:00

内部地区は歴史も深く、旧東海道、采女城跡など歴史的な財産がたくさんあります。

その歴史を守り、伝えるために、地区住民により「町かど博物館」が設立・運営され、「采女城跡保存会」の皆さんが日々活動しています。



内部小学校による町かど博物館・杖衝坂見学の様子

市外からのうつべ町かど博物館の見学会の様子



市外から采女城跡の視察



子ども会
デイキャンプ

采女城跡保存会 ～守ろう 郷土の文化遺産を～

采女城は1260（文応元）年（鎌倉時代の中頃）後藤基秀氏により築城され、以降約300年間、後藤家一族に統治されていたと言われています。高い土塁と深い空堀、虎口などの屈曲した形態や櫓跡が存在し、北勢地方における戦国期の典型的な城跡が残されています。

その大切な歴史的財産を守り、継承していくため、荒れ果てた山林を整備するなど、その保存に努めています。

最近では、遠方からの見学者も増えており、また、子ども会のデイキャンプやウォークラリーに利用されるなど、市民緑地としても広く活用されています。

四日市市に合併70周年記念事業



旧内部村が、四日市市に合併して平成25年9月15日で満70年を迎えたことから、内部地区の歴史をまとめた「わが郷土うつべ」を発刊しました。また、地区文化祭では記念イベントとして、約700人が何重もの輪になって大四日まつり音頭を踊り、「内部地区住民の絆」を再確認しました。

内部地区ホームページもぜひご覧ください。

HP <http://www.utsube.jp/>

問い合わせ先

内部地区市民センター
(☎345-3951 FAX349-2004)

有料広告掲載欄

限定
30棟

シロアリ駆除キャンペーン 1階床面積18坪を特別価格にて防蟻工事を実施いたします!!

通常価格117,000円(税別)のところ

※18坪以上は、1坪/6,500円(税別)ずつ追加となります。
※キャンペーン価格は、レギュラー施工に限りです。

特別
価格

76,000円

税別



住まいる安心・快適を
株式会社N-U-Cグループ
NUC Group

中部白蟻研究所

まずは、お気軽にお電話ください。イヤナムシナシ
☎.0120-187647

〒510-0208 鈴鹿市鈴鹿ハイム1-25
営業時間 8:00～19:00【日・祝日休】
中部白蟻研究所 検索

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。